資料４

**肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について**

取組の方向性

府がん対策推進計画にて肝炎ウイルス検査の受診促進のため「感染の高リスク集団を特定し、

累積受診者数の増加を図る」こととしている。それに基づき令和元年度肝炎肝がん対策部会にて、

「60歳代から70歳代を重点勧奨の対象集団とする」ことに決定。

→重点勧奨の対象集団を中心に普及啓発をより一層強化。

**＜令和５年度までの取組み＞**

１．メディアの活用（令和４年度～）

SNS・府政だより・健康アプリアスマイル等を活用した啓発の実施

２．肝疾患診療連携拠点病院や健康サポート薬局、企業等との連携（令和２年度～）

拠点病院イベントでの医師による参加者への呼びかけによる効果的な受検勧奨

健康サポート薬局でのチラシ配架

協会けんぽや民間企業等と連携したPR

３．市町村・市民病院・地区医師会への働きかけ（令和元年以前～）

好事例（重点勧奨対象への個別勧奨ハガキの送付等）を市町村に共有。市民病院に対し、府・市検査の受検勧奨・検査実施・陽性者フォローを要請。

４．府眼科医会の協力による検査機関増加の取組（令和４年１１月～）

眼科は患者に占める重点勧奨対象の割合が高いことから、府眼科医会の協力を得て取組を実施。

府眼科医会の会員1,400機関に向け、肝炎ウイルス検査事業への参画や肝炎医療コーディネーター研修への参加を要請。会員対象の症例研修会に参加し、制度を周知。

**＜取組み後の実績＞**

令和元年度：４，７０２件（うち６０～７０代：１，２５４件）

令和２年度：４，８６０件（うち６０～７０代：１，０９８件）

令和３年度：４，６８８件（うち６０～７０代：１，２５２件）

令和４年度：４，５４０件（うち６０～７０代：１，４７８件）

令和５年度：３，８０５件（うち６０～７０代：１，５８２件）

　 （４月～１１月）

**＜令和６年度の取組の方向性＞**

令和５年度までの効果を踏まえ、拠点病院、サポート薬局、企業、市町村等と連携した取り組みを継続して実施